

情勢報告（平成28年2月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

第2回嶺北地区農業改良普及推進協議会を開催

～ 普及活動実績や地域課題解決について検討 ～



普及推進協議会の様子

2月10日、今年度の普及指導活動の取組実績や次年度の計画などについて、農家の代表者やJA、町村関係機関が参加し、今年度2回目の「普及推進協議会」を普及所で開きました。

会では、普及指導計画の総合課題及び個別課題を説明し、第3期産業振興計画の農業分野についても情報提供し、協議会構成員（13名）に意見を伺いました。

委員からは、集落営農組織の交流活動報告、中山間複合経営拠点や環境制御技術に関する質問、新規就農者確保の取組や課題、直販所運営に対する要望など、幅広い積極的な意見や提案が多数出されました。

今回、出された意見を参考にし、今後の普及活動に活かしていきます。

JA土佐れいほく酒米部会作付検討会



現地検討会の様子

2月16日、JA土佐れいほく酒米部会が開催され、JAや全農こうち米穀課から酒米4品種の平成27年実績と平成28年作付面積配分について報告がありました。酒造好適米「吟の夢」は面積が増加しましたが、品種によっては減少し調整が必要となりました。普及所からは今年の玄米品質分析結果や次年に向けた栽培暦等について説明を行いました。参加した生産者からは面積配分の不安はあるが、次年も施肥等に注意して高品質の酒米を栽培していこうとの声が聞かれました。

普及所は、今後も酒米生産者に対して現地検討会等栽培指導を行っていきます。

嶺北地域果樹(ユズ)産地協議会を開催



産地協議会の様子

2月5日及び19日に普及所で嶺北地域果樹(ユズ)産地協議会開催を行いました。会には、JA無農薬柚子部会長、JA土佐れいほく職員、大豊町・土佐町・本山町の職員が参加し、今期の産地構造改革計画の達成状況の確認と次期の産地構造改革計画を作成しました。また、今年のEUへの柚子の輸出計画についても協議を行い、現地の需要に対応できるように取り組むことが決まりました。

今後も産地協議会を産地が一体になって協議できる場として定期的な開催を支援していきます。